

# 災救隊結成50周年 記念大会開催

## 災救通信

6月27日、災救隊結成50周年記念大会が開催され、全国47都道府県の教区長をはじめ、教区隊長、本部主事、更には本部主事OB等が親里ぢばに参集した。この日は梅雨時を象徴するような小雨が、午前8時頃から降り出し、本部東礼拝場に向かう参加者の中には、傘を差して向かう方あった。

### おつとめ

午前9時、礼拝場では中田善亮表統領が芯となり、これまでお連れ通りいただいたお礼と、今後のお導きを願っておつとめがつとめられた。

### 式典

その後、会場を南右2棟陽気ホールに移し、受付では早速、2週間分の健康チェック表の提出や検温などの健康観察が行われた。またその際、50周年の記念大会の記念品として、タオルが参加者に手渡された。(後日、支部隊長に配布予定)

午前10時、式典が執り行われ、はじめに真柱様よりのメッセージ(中田善亮表統領が代読)を頂戴した。



陽気ホール 式典会場



橋本武長 本部長

令和3年  
7月1日  
第23号

発行

天理教  
災害救援  
ひのきしん隊  
北海道教区隊

逐次発行

**宣誓**  
我々は天理教災害救援ひのきしん隊員であります。一列兄弟の自覚に立ち、真実をもって救援活動にあたります。

### 真柱様よりのメッセージ(骨子)

メッセージでは、これまでの災救隊の活動に対してのお劳い、節目を意義在らしめる確認や役割、災害が起こった時のお道の者としての受け止め方、親神様の御守護や親心にお応えする姿勢、更には、教えを素直に実行し、ひのきしんの態度を養って、災害の無い世の中を御守護いただくことを目標とし、一人ひとりが、その推進力となるよう願われた。

(骨子 文責 奥村尚人)

### 本部長挨拶

続いて橋本武長(はしもとたけなが)本部長が登壇し、挨拶を行った。挨拶では、「おぼ、かんろだいを押し、これまでお連れ通りいただいたお礼と今後のお導き、災害の無い世界を御守護いただけるよう、決意を込めておつとめさせていただきます。

只今の社会状況の中、真柱様の思召しをお聞かせいただき、記念大会が開催された事は、言葉も無いほどありがたいことである。いただいたお言葉をしっかりと心に収め、今後の指針とさせていただきます。

たい。

災害隊本部ではこの節目の年を迎えるために、実動を見据えた隊の充実を、活動方針に掲げ推進してきた。これは、50年に一度、100年に一度、観測史上最大、こうした言葉で形容される災害が頻繁に起こり、本部隊も毎年のように出動し、多方面から掛けられる期待も大きい。いざという時にたすけの手を差し伸べられるよう、各地域で訓練、すなわちひのきしん活動を通して、隊の充実と隊員の自覚を高めることを目指した。

災害は無い方がいいと言う事は申すまでもない。結成5周年記念大会に於いて三代真柱様は、

『災害がくるのを待ってひのきしん活動をするのではなく、災害を頂かなくて済むように、そのためには、親神様の思召を素直に受けて、与えられた日々、喜んで思召にふさわしい道を実践するような、いわゆるひのきしん活動の先達となつて動いて頂きたい。これが、皆様方に対する私の願いであります。』と述べられた上で、『もちろん、災害があったならば、いち早く駆けつけて頂きたい。ないからと言うて、皆さん方がひのきしんをする場がなくなるのでは決してないのではありません。災害救援のみのひのきしん隊ではなく、日頃から土地所におけるひのきしん活動の先頭に立ち、それこそ中核となつて、活躍して頂きたい。』

災害隊におかけ下さる親の思いを心に収め、災害の無い世界を御守護頂けるように、

その後も節目節目の度ごとに変わらぬお仕込みを頂戴し、本日のお言葉も同様に、真柱様の思召は社会情勢や取り巻く環境が変わっても何ら変わる事はありません。

本日参加が叶わなかった隊員の方々と共に地域ひのきしん活動の先頭に立つて、充実した活動を推し進め、いざという時にはたすけの手を差し伸べることが出来るように、勇んで励ませて頂くことをお誓いし挨拶としたい。」と述べられた。  
(文責奥村尚人)

### 「50年の歩み」上映

その後、陽気ホールの大スクリーンに「50年の歩み」と題したビデオが上映され、結成当時の様子やこれまでの主な災害救援の様子、被災地での活動についての感想、また、結成5周年記念大会での三代真柱様のお言葉などが映し出された。(約18分)

### 宣誓唱和・隊歌

続いて宣誓唱和を橋本本部長が感染予防の観点から参加者は復唱をせずに、代表して行った。同様に式典の締めくくりとして、隊歌を歌うのだが、斉唱せずにCDのみで行い式典が締めくくられた。

当初は多くの隊員共々におちばがえりをさせて頂き50周年を迎える予定だったが叶わず、北海道教区を代表し、西垣教区長と奥村教区隊長が参加をさせて頂いた。なお、記念大会の様子は本部ホームページよりWEB動画から視聴出来ます。[https://youtu.be/b\\_jyKsNSQ\\_E](https://youtu.be/b_jyKsNSQ_E)

大会を受け北海道教区隊として、幹部会議、スタッフ会議、隊長会議等を行う予定である。

天理教災害救援 ひのきしん隊 結成50周年記念大会

式次第

- 一、親神様、教祖、祖霊様通拝
- 一、真柱様お言葉(代読)
- 一、本部長挨拶
- 一、「50年の歩み」上映
- 一、宣誓唱和
- 一、隊歌
- 一、親神様、教祖、祖霊様通拝

我々は、  
天理教災害救援ひのきしん隊員であります。  
一れつ兄弟の自覚に立ち、  
真実をもって  
救援活動にあたります。

宣誓

# 空知支部訓練報告

令和3年6月29日、30日の両日（日帰り）、支部内教会境内地の整備ひのきしんを実施した。同所での臨時訓練は昨年9月に続き2回目。高坂支部隊長が東日本大震災出動時、津波をかぶり枯れた立木伐採を、高所作業車で実施した経験に基づき、有資格者である隊長と共に、高所での作業手順や声掛けなどのチームワーク、チェンソーや刈払機の使用、地上警戒と交通誘導を訓練した。

17メートルタイプの高所作業車が届く限界の巨大木が、境内地の角にあり、電話線と街路灯の電線・支持ワイヤーと干渉しており、訓練はこの大木の枝払いを中心に行った。また、他には下草刈りや雑木伐採なども実施した。



電線まで伸びた巨大木。



高所作業車を用いて安全に。

今年には除排雪を行う冬季平時訓練がコロナ禍で実施できなかったもので、このような機会はないがたいことである。災害時にはどんな作業が与えられるかわからないので、訓練を通して日頃から隊員同士コミュニケーションを図ってチームワークを醸成し災害出動に備えていきたい。

## 作業報告として

- ・下草刈り5アール
- ・高木枝払い4本
- ・雑木伐採10本
- ・地上警戒誘導5人

## 主な作業資材及び物品

- ・高所作業車（17メートルタイプ）
- ・チェンソー 3台
- ・充電機チェンソー2台
- ・高枝切り鋏1丁
- ・刈払機 3台
- ・ブロワー 1台
- ・三角コーン4個
- ・ホイッスル11個
- ・誘導棒2本
- ・消毒用アルコール1本
- ・衛生マスク1箱

## 参加人員

29日	作業班	12名	賄い方	2名
30日	作業班	8名	賄い方	2名

延べ24名

以上、報告致します。

空知支部副隊長 眞鍋頭成

**本部白川整備ひのきしん11月26日～27日実施予定  
函館・八雲・小樽・日高・富良野・紋別**